

おい書館

No. 29

大蔵省 関東財務局を訪ねて

上月議会において、中央図書館建設に関する請願を提出し継続になりました。請願内容は、今現在、図書館用地は決定していませんが、松戸市民の考える構想を準備する必要を訴えました。が、土地取得にこだわる議員が多いように見受けました。

そこで、二月七日(水)、大蔵省千葉財務事務所管財課(千葉市橋本)を訪ね、図書館用地候補に上っている相模台中央公園、大蔵省

関税中央分折所跡地について、移転の状況を聞くと共に、払い下げのお願いに行つて来ました。

。現在、中央分折所は柏に移転計画中だが、移転予算(建物・備品等)が平成八年度にはつかかなかた。九年度予算を進めていくが予測がつかない。

。跡地に関しては、聖徳短大と松戸市から要望が出されているが、大学は学校法人であつて公益性があると考え、現時点では市と対等と考へている。

。払い下げの順位は法的に決つていないので、国として天にかけるわけにもいかず、入札もしないので、松戸市と大学とで話し合つてほしいと大蔵側から提案している。国有財産法でも利用計画をたて、いかに有効に使うかということだ。

。利用内容が図書館であればというような優先順位の判断は現段階ではない。

。土地の利用計画については、国有財産審議会(学識経験者等)三者立場)があり、ここで問われて決定する。

以上の話には私たちは、現図書館が四十六万市民にとつていかにパン状態か、土地が確保すべきない壽、才四次から才五次五ヶ年計画に延びて中央図書館再建が進んでいない状況を訴えました。

市民がこれ程要望しているとは知らされていまいと言われ、今後も会報を送ることを約し、帰途に着きました。聖徳は熱心に要望している。さすが、松戸市も熱望すること、財務事務所や国有財産審議会の判断に強い影響を



与え、道を開くことを確信しました。『おい図書館』の活動に自信が持てました。(磯村忠良)

アメリカ東部の

図書館を利用して

||ボストン近郊||

正面入口を入れて左手は子供部屋で、ガラス張り、赤い壁のうたん、赤くペイントされた木の背の低い本棚が並んでいました。日本の絵本も棚一段分位あり、赤羽末吉さんの本を一冊その中に見つけ、とてもうれしかったことを思い出しました。ここで、おじいさんやお母さん方のストーリーテリングも開かれました。別に新刊本の部屋、雑誌・新聞類の部屋、カダログの棚などが

中央の吹き抜けの部屋をとり囲んであります。二階はマニアックなコーナーがあり、ここにも司書が入り、大きな机と端末を傍にゆたりと仕事をしています。その前には泥舟込んせしまいそうな大きなソファのセットが置かれ、横にはガラス張りの陳列ケースへ上から覗く箱型のものがあったて、ある時は本の中の忘れ物が飾ってあり、しおり・写真・切符などの思い出の品々が並べられていました。又、CDやテープ類を貸出している部屋(自由に聴くことのできるコーナーもある)や、

赤い本棚の 子ども部屋



ガラス張りの学習室(教名用)が数所ありました。

利用時間が長いのもうれしいことでした。季節によつて異なりますが、夏は朝九時、冬は十時からいずれも夜九時迄、日曜日午後から六時迄利用できます。夕方は学生がよく利用し、宿題を



していただきました。又、古くなつた図書はブックセルと称し、定期的に安く(必ずセ下からドル位)売っていました。移動図書館や、障害者向けの本の宅配などのきめ細かなサービスにも感心しました。

(右関とし子)

発行 『おい図書館』
連絡先 青木 和子

松戸市 総合ハニのいえ
〇四七三(六七)五三八四